

DAWとは？

DAWとは？

「Digital Audio Workstation」の略で
「ディーエーダブリュー」や「ダウ」と呼ばれる。

パソコン等のコンピュータを使って、デジタルオーディオを
録音編集する装置、またはソフトウェア全般を指します。

元々はレコーディングやミキシングなど
スタジオ業務に用いられるツールとして誕生し
現在ではMIDIシーケンサと統合されたDAWが主流になって
作編曲、録音、編集、MIX、マスタリングなど幅広く使用される。

MIDIシーケンサとは

「MIDI (Musical Instrument Digital Interface)」という音楽制作の現場で幅広く利用されている規格に基づいて音源をコントロールするための情報を記録、編集、再生するための装置、またはソフトウェアのこと。

主に作編曲・プログラミングのために使用される。

DAWでできること

現代のDAWでは、主に以下のような作業を行うことができます。

- 作編曲
- 楽譜制作
- プログラミング
- レコーディング
- ミキシング
- マスタリング

作編曲

MIDIデータの録音や編集、ソフトウェア音源の再生機能を使い作編曲作業を行うことができます。

- 簡単に記録・編集できる
- 音を聞きながら作業できる
- 様々な音色を使える
- より多くのパートを同時に取り扱える
- 完成した音源を書き出して共有できる
- 映像と同期できる

など、DAWを用いるメリットがあります。

楽譜制作

DAWの中には、本格的な楽譜作成機能が搭載されているものもあります。

プロの現場では楽譜制作専用のソフト(ノーターションソフト)を用いることが多いのですが
アマチュアレベルであれば、DAW搭載の楽譜作成機能だけでも十分にそれらしい譜面を作ることができるでしょう。

プログラミング

ここでいうプログラミングは
「シンセサイザープログラミング」を指します。

平たく言えば「打込み」のことです。

ソフトシンセやサンプラーなどの音源を自動演奏させるためのMIDIデータを細かく編集して、リアルなオーケストラサウンドや複雑なシンセサウンドを作ったりと、クオリティ高い音源を作り出すことができます。

レコーディング

ヴォーカルやギターなどの生演奏を
高品質なサウンドでレコーディングすることもできます。

DAWとオーディオインターフェイス
必要に応じてマイクなどを用意するだけで、
誰でも気軽に歌や演奏を録音することができます。

ある程度環境を整えれば
本格的なレコーディングスタジオと同等の作業が
自宅で簡単に行えます。

ミキシング

ミキシングなどの完パケ作業も難なくこなすことができます。

完パケとは完成パッケージの略で、完成品を指します。

プログラミングやレコーディングによって作り上げた各トラックを、さまざまなプラグインエフェクトを駆使しながらブラッシュアップします。

明瞭で聴きやすく、迫力のある楽曲に仕上げることができます。

また、ミキシングは別カリキュラムで詳しく解説しています。

マスタリング

マスタリングとは、CDや音楽配信など最終的なリリース形態にあわせて楽曲の音量や音質を整えていく作業のことです。

プロフェッショナルな現場ではマスタリング専用のソフトウェアや機材環境が用いられますがアマチュアレベルであれば一般的なDAWでも十分可能です。

ミキシングとマスタリングの違い、マスタリングそのものについても別カリキュラムで詳しく解説しています。

主なDAW

- Apple : GarageBand / Logic Pro
- Steinberg : Cubase / NUENDO
- AVID : ProTools
- Ableton : Live
- PreSonus : Studio One
- MOTU : Digital Performer
- Image-Line : FL Studio
- Cockos : REAPER
- INTERNET : ABILITY